

はまゆう

2016 Jun.
No.659

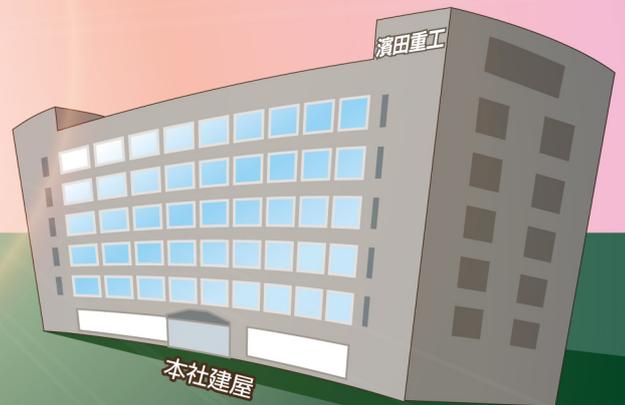
6

特集

創業120周年まであと2年 積み重ねた歴史を 未来につなぐ



2年後に
創業120周年
を迎えます!



120



balancingマシンの操作法を
若手に指導する大場博暁さん
(八幡支店・整備課)



ブレーカーのピストンとシールリテーナの
分解作業を念入りに実施する二宮章次さん
(オートライフセンター)



安全第一に再生地金の鑄込み作業を行う
白石太郎二さん (八幡支店・製鋼課)

特集 創業120周年まであと2年

積み重ねた歴史を 未来につなぐ



当社で働く皆さんは、日々、それぞれの業務に励んでいます。毎日の仕事に追われてしまうと、会社での目標や、何のために働いているのかなど、過去を振り返って自分を見つめ直す余裕をもてないことが多いのではないのでしょうか？

本社や部門で毎年5・6月に実施されている創業記念式典や伝達式では、創業の原点に立ち戻り、創業当時の会社の歴史を振り返っています。全社員の志気や仕事への意欲を高め、未来へと踏み出す一日。その模様と永年勤続表彰受賞者の声をお伝えします。

また、当社は2年後に創業120周年を迎えるにあたり、企業価値をさらに高めるために、CIを始動しました。皆さん自身や職場に関わりがあるCIについて、分かりやすくお伝えします。



職場の仲間とのコミュニケーションを
大切にする岩崎信英さん
(大分支店・生産課)



30代の頃、八幡支店での業務に
向かう西首正二さん
(光支店・整備・工事課)



クレーン運転でタンディッシュ移動を行う
小林国昭さん (大阪事業所・生産グループ)



会議で議論を重ね、より良い職場づくりと
生産性向上に努める中林良二さん (君津支店・製鋼課)

創業118周年記念式典



▲本社で開催された創業118周年記念式典に参加した永年勤続表彰受賞者と社長・専務・常務で集まり記念写真を撮りました

【謝辞】

「職場の安全」を柱に お客さまの信頼を得る 仕事をしたい

私は平成8年に濱田重工(株)君津支店に入社して二十一年間、工事部整備課の重機整備係に従事しています。入社した頃は、特に車や重機関係に興味がなく、油とホコリにまみれ、白い作業服が段々黒く汚れていくのを見て、少し抵抗を感じたことを今でも覚えています。

それから年月を重ね、少しずつ点検作業から、技能を要する整備作業の仕事に任されるようになりました。現場から感謝の言葉や、上司・先輩方からのお褒めの言葉をいただくようになり、自分が行っている仕事の大切さは、それ以上にやりがいがあると思えるようになりました。21年目となる今年、主任を任命されました。今後も初心を忘れることなく、職場の安全を柱に、任務に取り組んでいきます。

創業118周年を迎えた今、当社を取り巻く環境・情勢は厳しくもめまぐるしく変化しており、この環境変化の中を生き残っていくには、お客さまとの信頼関係を築いていくために、「誠心」の精神で、社員一人ひとりが「一丸となり」「基本の徹底なくして安全なし」を実践していくことを誓います。



謝辞を述べる君津支店整備課の千葉健太郎さん(左)

長年の功労に感謝します!

永年勤続表彰を受賞された全社147人の皆さん、おめでとうございます。

今後も皆さんの力で、会社や職場を発展させていきましょう!

40年表彰

【八幡支店】
岡本均 重田浩
井上正人 白石太郎二
濱崎一雄 岩崎信隆
安田博昭

【君津支店】

佐藤敏 中林良二

【オートライフセンター】
山内光春

35年表彰

【八幡支店】
村井修 本多辰夫
白濱幸則 平野武彦
谷村直 垣内俊昭
実崎正人 大田新治
岡野修治 樋口利春

【光支店】
相原邦夫 城幸夫
西首正二 葛原満

【君津支店】

吉村光弘 矢内信二
宮窪栄三 佐野康則

【大分支店】

岡野恵介 中原裕二
岩崎信英 赤星真治
高野幸喜 釘宮信介

【産機事業部】
白石美香

【シリコンウエハー事業部】
黒澤敏浩

30年表彰

【本社】
福田泰光 三波博美

【八幡支店】
宮内政秀 栃原直也

【君津支店】

谷口久 橋爪雄二
田沢秀雄 新妻清孝

【大分支店】

高野和弘

【オートライフセンター】
二宮章次 藤村哲也

【シリコンウエハー事業部】
永田竜也

20年表彰

【八幡支店】
幸幹雄 大場博暁
金山亨

【光支店】

村木康二 新谷隆介
林正明

【君津支店】
江藤隆 川名洋行
森博和 長谷川大輔
中川義夫 増田正人
古川一平 三村誠
山本良和 千葉健太郎
後藤光博 伊坂雅裕

【シリコンウエハー事業部】
岡本征也 阪本充
豊岡尚美 清原世志盛
三浦勉 中山浩助
谷本浩司 瀧上慎二
井信秋 吉村和晃
竈健司 池部貴之
山本恭裕

10年表彰

【本社】
上川義弘 上門亜利紗

【八幡支店】
氏田梨絵 三浦良彦
甲斐照章 津村和輝
佐々木大祐 杉木利祐太
松口壘 高田誠
美濃佑次 梶原恭兵
林寿樹 北川暁
井上博文 大倉野恭平

【大阪事業所】

米澤宏倫

【大分支店】

菊池幸一

【オートライフセンター】

渡辺俊一

【シリコンウエハー事業部】

北里章矩 高木将裕
吉野友敬 上野雄大
松岡竜一 東勇希
竹腰国臣 佐藤清太
緒方貴洋 岩見祐介
上野聖彦

【大阪事業所】

内村光弘 小林国昭
東幸夫

【光支店】

芳岡潤 清水康弘
松田幹雄 福本真治
中尾剛 藤井謙治

横道浩明 今井祐太
中道賢之 古田啓司
吉富英治 勝屋雅則

【君津支店】
野口優 山野井美紗
半藤武司 高坂政哉
三浦洋平 今野和
大原清 近藤貴浩
小坂晶一 高橋一嘉
仲宗根大介 江藤誠
小野寺泰幸 角館伸哉
横溝伸吾 太田幸司
石田和洋 伊藤和己
近藤容規 深野修平
能登和也 菅原裕二
山田尚一郎

【シリコンウエハー事業部】
阪本充
清原世志盛
中山浩助
瀧上慎二
吉村和晃
池部貴之

【大阪事業所】
阪本充
清原世志盛
中山浩助
瀧上慎二
吉村和晃
池部貴之

【大分支店】
菊池幸一

【オートライフセンター】
渡辺俊一

【シリコンウエハー事業部】
北里章矩 高木将裕
吉野友敬 上野雄大
松岡竜一 東勇希
竹腰国臣 佐藤清太
緒方貴洋 岩見祐介
上野聖彦

【大阪事業所】
内村光弘 小林国昭
東幸夫

【光支店】
芳岡潤 清水康弘
松田幹雄 福本真治
中尾剛 藤井謙治

Why?

私が働き続けてきたワケ?

永年勤続表彰受賞者代表に、

入社から今日まで働き続けてきた道のりを振り返ってもらいました。

また今後、職場を背負って立つ後輩の皆さんへのアドバイスをいただきました。

これからも、当社でのご活躍をお願いします。



現在は溶湯センターの仕事に従事。メッキ工程で発生した副産物を溶かして、型に入れて再利用する職場の主任として尽力しています。



後輩たちへのアドバイス

仕事で叱られることはあるけれど その経験を糧に安全に強くなれ!

私が入社した40年前に比べると、安全最優先の意識が根付き、環境や防災に関してもルールが明確になり厳しくなりました。また一人作業が増えており、安全の確保が心配です。若いうちは体調面でも無理をしがちですが、飲みすぎないことや十分な睡眠を取るなど、自己管理をよろしくお願いします。仕事上で叱られることもあり、委縮する若者が多いですが、皆さんの安全を思っている先輩の思いやりです。先輩の教えを糧に頑張ってください!

40年はあつという間で、無我夢中で仕事をしてきました。今日まで心身共に健康に過ごすことができ、職場の皆さまと家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

八幡支店製鋼課のさまざまな仕事に従事してきましたが、私の会社生活の転機は、入社2年後に君津支店のORP（溶銑精錬）の立ち上げに携わったこと。何もない状態からORPの工事に携わり、失敗や上手くいかないことの連続

で本当に苦労しました。けれども、当時の課長から現場のことを任せていただき、信頼されていることを実感したので、とにかく立ち上げようと最後まで必死に頑張りました。君津支店に13年勤務後、八幡支店に戻りましたが、今でも君津支店のORPが当社の事業として存続していることを嬉しく思います。

今後は自分の体を大切にしつつ、後進のことも気遣いながら仕事を頑張りたいです。



いい上司と仲間
恵まれたことが
40年の力となる

八幡支店・製鋼課 白石太郎二さん





仲間が安心して働ける環境づくりに力を入れるため、会議や対話での情報の共有化に努めている中林さん。



後輩たちへのアドバイス

失敗を恐れずに挑戦し、自分のキャパシティで学び楽しむこと

後進の皆さんには、何事にも一生懸命に取り組む姿勢を大切にしてほしいです。仕事でも趣味でも遊びでも、全力で取り組むなかでの成功や失敗の経験、人との出会いから、自分に合った方向性やキャパシティを判断していくと、自分をコントロールできるようになってきます。それが仕事を長く続けていく上で、大切なことだと思います。

40年は長かったような、あつという間だったような…。若いころは何をするにも一生懸命で、仕事も遊びも、人付き合いも手を抜いたことがなかったように思います。会社の仲間や上司からは、期待されたり煙たがられたり(？)、そのおかげで、今の自分があると感謝しています。

一番大変だったのは、昭和58年に君津支店に転勤し、溶銑精錬課で現場責任者を経験したこと。グループ員と上手くコミュニケーションがとれず、ストレスを溜め込むこともありましたが、仕事は絶

対に妥協しないと決め、黙々と取り組みました。その思いとやる気が通じ、皆が徐々に話しかけてくれるように。責任者として認められた喜びと安堵の気持ちでいっぱいになりました。今でも忘れられない経験です。

今後は、職場の仲間が安心して働ける環境づくりに力を入れたいです。情報の共有化が大切なので、上司・部下に関係なく、何でも言える雰囲気づくりを目標に、先輩方から継承してきた「誠心(まごころ)」を常に念頭に置いて、業務に尽力したいです。



仕事への真つすぐな
思いが周囲との
連携につながる

君津支店・製鋼課 — 中林良二さん



左から伊藤昭広さん、工藤隆弘さん、岩崎信英さん。小まめなコミュニケーションが円滑な仕事につながります。



後輩たちへのアドバイス

仕事だけでなく、趣味にも力を注いでください

入社当初に比べ、作業時の安全レベルが非常に高くなりました。健康第一で頑張っていくと同時に、仕事以外にも目を向ける時間を作ってほしいです。特に若いうちは、趣味に没頭することも重要です。共通の趣味でつながる友人は社会生活において、必ず大切な存在になると思います。

入社して35年間いろいろなことがありましたが、仕事を理解してくれ、どんなときも協力してくれた妻に感謝したいです。

最も記憶に残っているのは、平成21年の大分製鐵所一高炉改修前の二年間です。設備の老朽化が進み、設備トラブルが連発する上、ピット制約といった厳しい作業条件のために、操業が行き詰まり、休風といった状況も多々あり、対応が困難な状況が続きました。

しかし工場、生産課、整備工事課が三位一体となり、各ポジションでの最善の対応を行ったおかげで、災害も無く、一高炉改修を迎えることができました。今振り返ればハードな日々でしたが、あらゆる面で飛躍できた時期だったと思います。

今後、私たちの職場は若手を中心となっていくと思うので、後進の育成に力を注ぎ、職場のレベルアップを図りながら、私自身も成長していきたいです。



三位一体で
一高炉の改修を
乗り越えた

大分支店・生産課 — 岩崎信英さん





小まめなコミュニケーションを心がけ、グループの輪を大切にしています。



先輩たちへのアドバイス

相手を尊重しながら 自分らしさも大切にしてください

時代と共に機器の近代化、高度化が進み、高性能で便利になってきました。それに伴い、技術取得能力も向上してきていると思います。後進の皆さん、仕事には献身的な姿勢で取り組み、自分にできることをしっかりとこなしていきましょう。仕事を楽しみながら、得意なことをどんどん伸ばしてほしいです。

また公私共に人付き合いを大切にしてください。相手を尊重しながら、自分らしさを忘れずにいることを心がけてほしいです。

入社してから今日まで、仕事を続けることができたのは、これまで関わってきた上司、同僚に恵まれたからだと思っています。職場の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

会社生活で一番思い出に残っていることは、入社10年を過ぎたころに、東京のある劇場の舞台装置据え付け工事に携わったこと。スキルアップにもつ

ながり、現職務を遂行する上で、自信となる良い経験になりました。また入社後3〜4年目に、景気低迷に伴う職場への影響で、働くことのありがたみを実感したことも、今の自分の糧になっています。

これからは、安全第一で仕事に努め、次世代の育成に貢献していきたいと思っています。



職場の上司・仲間の存在が、仕事を続ける原動力に

光支店・整備工事課 西首正二さん



「5年間は何かあってもあきらめるな」の精神で乗り切る

オートライフセンター 二宮章次さん



今日まで大きな病気もケガもなく、無事に働くことができたのも、家族や職場の皆さんのおかげだと思っています。高校の担任から言われた「5年間は何かあっても、あきらめるな」という言葉が入社してからずっと心に残っており、5年、10年、30年と時間が経過したように思います。

思い返してみると、作業内容や納期が

難しい依頼も数多くあり、休日を返上して作業したりと、大変なこともありましたが、職場の仲間の協力や、上司のアドバイスで乗り切れたことは嬉しく、良い経験になりました。

これからも、まだまだ学ばなければならないことがたくさんありますが、職場全体を見渡せる余裕が持てるように、努力していきたいと思っています。



現場作業もデスクワークもオールマイティーにこなします。



先輩たちへのアドバイス

40歳過ぎたら身体のケアも積極的にいきましょう!

整備する機械も昔と変わってきていますし、ベテラン層の定年で整備士全体の人員も減ってきています。40歳を過ぎると身体も疲れやすくなってきますが、少しずつでも体を動かして自身のケアを大切に、健康第一でこれからのオートライフセンターを支えていきましょう。



製品の検査をマンツーマンで若手にレクチャー



先輩たちへのアドバイス

仕事のやりがいを見つけることが明日への活力となる

仕事をする上で、ストレスのない人はいないと思います。新入社員の頃、先輩に「次の職場に行っても、悩みがなくなることはない」と言われ、ここで働いていこうと決意。今では私がこの言葉を受け止め、若手にも伝えていきます。後進の皆さんには、経験を積むなかで、自分の仕事にやりがいを見つけてほしいです。その気持ちが、辛いときに皆さんを支えてくれると思います。

勤続10年を超えたころから、部下に指導する立場となり、あつという間に月日が過ぎました。仕事を理解してくれる家族がいること、仕事内容が変化する整備の仕事が性格に合っていたことは、幸運だったと感じています。

入社後10年は製缶加工班に従事し、それ以降は、仕上げ加工班でダイナミックバルランシングという、回転機械を円滑に動かすために、機器のバランスを調整する仕事を中心に行っています。バルランシングを始めて一年ほどで上司が退職し、二人で担当したことが私の転機

に。分からないことがあっても、聞く人がいないので、過去のデータを見て必死に勉強しました。事例の無いケースにも対応できた時は嬉しかったです。お客さまに継続して依頼していただける、信頼を築けたことを実感し、やりがいを感じます。

次は勤続30年を目指し、後継者を育成したいです。ちょうどそのとき、息子がハタチになるので、一緒にお酒を飲むのも夢です。実は昔、母も当社で働いていたことがあります。この縁を大切に、最後までこの仕事を全うしたいです。



20年表彰

大ベテランから
引き継いだ仕事を
研さんし、信頼アツプへ

八幡支店・整備課 大場博暁さん



仲間とのコミュニケーションを大切にすることで、グループの結束力も高まります。



先輩たちへのアドバイス

年齢により無理をせず
身体をいたわることが大切です

最近は人力作業から機械作業に変わっていき、効率的に仕事が進むようになりましたが、歳を重ねるにつれて体力は落ちていくもの。無理をせず、自分の体をいたわりながら、仕事に取り組んでください。

10年間は本当にあつという間でした。上司や職場の仲間との関係に恵まれたことに感謝しています。

会社生活で一番思い出深いことは、2CC(連続铸造)での浸漬铸造が始まる時、メーカーの方や同僚と一緒に、スライディングノズルの整備の仕方を取り付け方法を考案できたこと。すべてが0からのスタートだったので、整

備場の問題や施工方法など、グループ全員で協力し合って作製していきまし。そこで発生したリスクの改善にもグループ全体で取り組み、リスクアセスメント活動発表大会に出たことも良い思い出です。

定年まであと7年。後進を育成し、グループのレベルの底上げを図っています。



10年表彰

最高の仲間との
歴史に残る仕事が
私の生涯の誇り

大阪事業所・生産グループ 小林国昭さん



Corporate Identity

未来へつなぐ濱田重工の想い



CIって何？

当社は2年後に創業120周年を迎えます。そこで企業の未来を創り、企業の価値を向上させる事業の一環として「CI推進プロジェクト」を昨年11月より始動いたしました。そこで特集として「CIって何?」「CIで私たちの身の回りの何が変わるの?」をお伝えします。

CIって何？

CIとは、Corporate Identityの略で、濱田重工の独自性をデザイン・カラー・ビジョンなどでアピールし、広く認識してもらうことです。当社は、今までさまざまな活動を行ってきましたが、創業120周年を機に、従来の活動を経営フレームワークとして体系づけて、さまざまな方面にアピールし、会社の価値をより高めていきます。

CIはいろいろな立場の人に有用

社員(家族)にとって

この会社に入って良かったと思えること。この会社で働き続けたいと思ふこと。

学生にとって

学生からみて「濱田重工に入って働きたい」と思えること。働いている社員がイキキとして見えること。

取引先にとって

●当社のお客さまから見て

濱田重工のサービスや製品(技術)品質・安全・納期・価格が信頼され続けること。

●当社が客の立場の場合

濱田重工の仕事は安定していると実感してもらえらるること。

CIがなぜ強みに？

「お客さまの競争力を高めるために、最善を尽くす」
「適正な売上・利益を上げ、会社を存続させる」
「多くの雇用を生むなど、社会に貢献する」

これらのことが、企業存続のために必要であり「社員」「学生」「取引先」の、3つの角度から見て「頼れる会社」でなければいけません。「濱田重工の独自性や強みがあったからこそ、創業から120年間も経営できた」ということを社内外で広く理解してもらうために、CI推進委員会ですさまざまな活動を計画しています。

一般的な、CI活動といえば、社名、コーポレートカラー、理念、ロゴ、スローガンをリ・ブランディングしています。

例えば・・・



クレーン・大型車両
いつも乗る作業車が
カッコイイ



作業着
改善されて良くなった



新バージョンの
名刺デザイン
デザインにこだわり
相手に印象づける？



支店事務所がきれい
きれいな職場でモチベーションアップ



会社ロゴや社章
キラリと目立っていいかも

会社の強みをアピール

濱田重工は、特定の法人取引先が中心の会社(B to B企業)ですが、単に「取引先」に対するイメージづくりばかりでなく「広く一般」に対するイメージづくりに努めます。

Three arrows toward the 120th anniversary

創業120周年に向けた3本の矢

チームリーダーに濱田重工の良さと強み、検討内容について聞きました。

検討内容と目指す効果

「デザイン分科会」では、人財が集まる会社にするため「きれい」「気持ちよく」「家族」がイメージできるようにデザインします。「広報分科会」では、社員の皆さまが、会社への理解度や帰属意識を高め、会社を誇りに思え、また社外の皆さまには濱田ファンになっていただけるような活動を行います。デザインでは、ロゴマーク・コーポレートカラーなどを検討。広報では、既にホームページの更新を行い、**今後は120年史の編纂と会社案内の刷新などを検討**しています。



コーポレートブランドの統一

〈広報・デザインチーム〉

当社の良さ、強みは「現場力」。30年近く前の話ですが、営業マン時代に、なかなか仕事に結びつかず悩んでいました。現場の若手監督者から「畑瀬さんが取ってきた仕事は、畑瀬さんがやってほしい金額で、絶対してやるけー」と後押しされ、受注できた仕事があり、今でも忘れられません。実際、現場の方々も創意工夫され、見事に希望どおりの金額で完遂でき、当社の「現場力」が当社の強みであると強く思うようになりました。それ以来「現場力」が、私の営業の原点となり、仕事にも自信を持つことができ、今日の自分があると思っています。

**人を大切に考えた
取り組みで会社の魅力を
社内外に伝えたい**



総務部長
畑瀬将尚さん

検討内容と目指す効果

当社は「請け負った仕事には、誠心誠意最善を尽くし、命がけで約束を守った」ことを原点とした「誠心」の社風が、今日まで受け継がれています。この「誠心」はすべてに通じる普遍的価値観であり、この企業理念のもとで、**ビジョン・行動指針など経営活動の体系化を図り、いま一度明確化したい**と思います。特に、行動指針については、現場の最前線まで浸透・定着できるようにし、**強い組織の構築と一体感の醸成を図れるようにしたい**と思っています。



企業理念の浸透

〈企業理念チーム〉

当社は現場力が素晴らしいです。厳しい現場環境のなかで、お客さまのニーズに誠心誠意最善を尽くし、昼夜を問わず突発的な出来事にも対応できる機動力などが、誇りになっています。これが、お客さまからの信頼につながり、当社の存在価値を高めてきた大きな要因だと思っています。関わった諸先輩方は、課題を共有し、悩みを聞いてくれたり、叱咤激励してくれたり、人として素晴らしい方ばかりです。素晴らしい上司・先輩に巡り会えたことが私の財産で、教わったことを多くの若手に伝えていくことが大切な仕事のひとつと思っています。

**「誠心」の普遍的価値観を
経営活動の体系化で
いま一度明確に**



経営企画部長
福田泰光さん

検討内容と目指す効果

「イベント分科会」では、**創業記念式典や周年行事のイベントなどを中心に検討**しています。創業120周年を節目に、当社の歴史を正しく認識した上で、将来の方向性を理解し、社員みなで同じ方向へ動いていくことを目指します。
職場環境改善の面でも、皆さまが**より働きやすく、コミュニケーションが取りやすいオフィス環境を構築**できるように、取り組んでいきます。



社員満足度の向上

〈イベント・職場環境改善チーム〉

入社半年の私が、濱田重工の良さと強みについて語ることは、おこがましいですが、他社と比べて気付いたことについて、コメントいたします。今、日本の大企業は、自社の利益至上主義のもと、効率・合理化を推進していますが、社員や取引先に対する「優しさ」は逆に低下していると思います。
当社の良さや強みは、一世紀以上会社が存続していても、過去企業が最も大切にしていた社員や取引先に対する思いやりを「誠心(まごころ)」という理念のもと、受け継いでいることだと思っています。

**当社の歴史を認識し
同じ方向で将来を歩む**



本社・総務グループ
松原 徹さん

さらに強く、未来へと歩む企業へ...

見つけた! kirari輝く★15

「いきいき働いている若手社員」のON/OFFを大解剖!
毎号、各部門の10代・20代の社員をクローズアップします。



元気で明るい行動派 多趣味でポジティブ

アイコムソフト(株) ソリューショングループ 野上 茜さん(23歳)

●プロフィール/平成27年4月に定期入社。興味があることには何でも挑戦する行動派。本人いわく、AB型、平和主義の楽天主でストレスフリー! 元気な笑顔で周りの雰囲気明るくします。高校は英語科で、畑違いの情報系の大学に進み、現在はシステムの制作に従事。7月からは北九州を離れ、山口県の取引先で仕事に挑戦する彼女の、今後の成長が注目されています。

ON

プログラム制作で お客さまをサポート

プログラムを設計書に従って制作し、テストを行っています。製品の説明など、お客さまとお話する機会も多いので、常に笑顔で前向きに仕事に取り組むよう意識しています。

プログラムが思い通りに動かない時は苦労しますが、上司に教えてもらいながら日々勉強し、さまざまな状況に対応できる知識を身につけています。資格取得にも挑戦し、オラクルマスターのブロンズに合格。スキルアップにむけて奮闘中です。



▶打ち合わせでも、コミュニケーションを大切にしている野上さん。

頼られるSEになりたい

仕事での目標は、お客さまに信頼されるシステムエンジニアになること。お客さまから「使いやすいになった」「作業が楽になった」と言われるなど、やりがいも実感しています。

SEにはお客さまの“口に出さない要求”を聞き出す力も必要。製品完成後の機能の追加は時間がかかり、お客さまにも迷惑をかけるので、あらかじめ細かな希望を引き出すことを大切に、スーパーSEを目指します。



かじめ細かな希望を引き出すことを大切に、スーパーSEを目指します。

◀システムのレイアウト調整を行い、使いやすさ・見やすさを追求。

OFF

料理に観劇に… OFFもアクティブ!

一人暮らしなので、自炊に奮闘しています。得意なのは、オムライスと唐揚げ。大学で自ら立ち上げた料理サークルで腕を磨き、なんでも作れるとのこと。ミュージカルも好きで、劇



団四季の公演を観に行ったり、買い物に出かけたり、カフェめぐりをしたり…。OFFもアクティブに活動しています。

◀クリスマスに作った料理。見た目も美しいです。

得意の手芸を極めています

手芸が得意で以前は服も作っており、友人から頼まれることも。最近はレジンアクセサリー作りに夢中です。レジンという透明な液体樹脂をUVライトで固めると、ガラスのようなきれいな質感に。好きな素材を入れて自分好みにカスタマイズ。いつでも簡単にできる手軽さが魅力なんだそう。



▶ネックレスからヘアアクセサリーまで作れるほど器用です。

◀倉敷でガラス工芸に挑戦。

50% 音楽
邦楽や洋楽からクラシックまで幅広く聴きます。ポルノグラフィティとHello Sleepwalkersが好き。大学時代はバンドのヴォーカル・ギターも経験しました。

20% アロマグッズ集め
ローズの香りが大好き! アロマポットやお香、ボディスクラブなどのグッズを集め、癒されています。

30% 旅行
国内旅行によく行きます。体験型の旅行は楽しめて、思い出に残るので好きです。

元気の素

次号は八幡支店(製鋼課)のKirari輝く人をご紹介します。